

ア. 標準予防策のまとめ

病室	<p>環境を汚染するような患者、また適切な衛生環境を維持することに協力が得られない患者は個室に入れる。</p> <p>病室は常に環境整備を行う</p>
エプロン	<p>血液、体液、分泌物、排泄物により衣類が汚染する可能性があるときビニールエプロンを着用する。</p>
マスク	<p>血液、体液、分泌物、排泄物が飛散する可能性があるときサージカルマスクを着用する。</p>
ゴーグル	<p>1) 血液、体液、分泌物、排泄物が目・鼻・口に飛散する可能性があるときに着用する</p> <p>2) 目の防御が必要な時はゴーグル</p> <p>3) 目や顔・顔・口・鼻の防御が必要なときはフェイスガード付きマスク</p>
手袋	<p>1) 血液、体液、分泌物、排泄物、汚染物に触れるときは手袋を着用する。</p> <p>2) 粘膜や創傷皮膚に触れる直前に清潔な手袋を着用する。</p> <p>3) 高濃度微生物を含んでいると思われるものに接触した後は、同じ患者であっても処置の合間に手袋を交換する。汚染しているような尿やドレーンなどを排泄したその手袋で創傷に触れることはしない。汚染度の高い部分から清潔度の高い部分に触れるときは手袋の交換をする。</p> <p>4) 使用後の手袋で周囲環境に触れないように手袋は直ちにはずす。</p> <p>5) 手袋の着用および交換が必要な場面</p> <p><u>①手袋の着用が必要な場面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液に触れるとき ・すべての体液に触れるとき ・粘膜に触れるとき ・傷口に触れるとき ・血液や体液の検体を扱うとき ・静脈穿刺、血管穿刺を行うとき ・侵襲的処置を行うとき ・血液や体液に汚染されたものに触れるとき ・血液や他の感染性物質で汚染された可能性のあるものに触れるとき <p><u>②手袋の交換が必要な場面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・破れたとき ・同じ患者でも身体の異なる部位に接触するとき ・次の患者に移るとき

	<p>6) 手袋の選択基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IVH・CV カテーテル挿入、血管造影検査、生検、気管内吸引時は滅菌手袋を着用する。 ・ 静脈穿刺、血液ガス採取、採血時はラテックス製ゴム手袋を着用する。 ・ その他の場面では、プラスチック手袋を着用する。
手洗い	<ol style="list-style-type: none"> 1) 血液、体液、分泌物、排泄物、汚染物に触れた後 2) 手袋をはずした後 3) 患者処置・ケア中に体の汚染部位から清潔部位へ移動する時 4) 手洗いはあきらかに目に見える汚染がある時 5) 手洗いすべき場面 <ol style="list-style-type: none"> ① 侵襲的医療行為を行う前 ② 配膳前、リネン交換後、清掃後、業務始業終了後、トイレの後、喫煙、鼻をかんだ後 ③ 免疫不全患者や新生児などの易感染性患者をケアする前 ④ 創傷に触れる前後 ⑤ 手に微生物汚染が起こることが予想される医療行為の後 ⑥ 毒性の強い細菌などで汚染されている可能性のある器物に触れた後 ⑦ 多剤耐性菌などの臨床的および疫学的に重要な微生物が定着または感染している患者をケアした後 ⑧ 易感染性患者を収容している病棟で別の患者に接触する場合
使用後器材	<ol style="list-style-type: none"> 1) 中材ボックスに直接器材を入れ、蛋白凝固防止剤を振りかけた後、中央材料室へ提出する。 2) 使い捨て器材は適切に廃棄する。
食器類	中央配膳の食器・トレイを使用し、そのまま下膳車に返す。
器 械	埃等を水拭き又は空拭きする。消毒薬を使用する場合は、低水準消毒薬（環境クロスなど）を使用する。
リネン	<ol style="list-style-type: none"> 1) 週1回交換する。 2) 交換時は、周囲に埃を撒き散らさないように注意して行い、ランドリーボックスに入れる。 3) 感染性リネンは、ビニール袋に入れて口をしっかりと縛り、病棟名と何による汚染（便・尿等）か、リネンの種類、枚数をマジックで書き提出する。リネンは包布、敷布、枕カバーを一緒に入れて可。しかしフトン、マットレスは一緒に入れない。
ベッド清掃	<ol style="list-style-type: none"> 1) ベッド柵及びベッド周囲の物品を1日1回水拭きする。 2) 退院後はマットレスをあげてベッド全体を水拭きする。
便器・尿器	1) 洗浄機が設置してある病棟は、1回使用毎に水洗いをして洗浄機に

	<p>いれ洗浄する。</p> <p>2) 洗浄機の設置していない病棟は、1回使用毎に水洗いをして 0.02% 次亜塩素酸ナトリウム液で消毒し乾燥させる。または、0.02%次亜塩素酸ナトリウム液に1時間浸漬させる。</p>
廃棄物	所定の容器に廃棄する。
清掃	<p>清掃業者による掃除</p> <p>床はダストクロスにより除塵を行い、汚れの箇所は部分的に水拭きし、モップで拭き取る。等（清掃基準に基づく）</p>